



滋賀県レイカディア大学同窓会 湖東支部会報

令和2年8月1日

コロナに負けるな 湖東支部



湖東支部長
上野 芳樹

暑い日が続いておりますが、会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

私、児玉前支部長の後任として湖東支部長の重責を預かることになった上野芳樹です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4月当初は、全く未経験のポストであることに加え、新型コロナウイルス感染防止のために全ての行事・活動が中止という異常事態の中、何をどうしているのか全く見えず、不安と焦りばかり感じる日々でした。

でも、6月に入り、ようやく第一回運営委員会を開催することができました。会議では、四部会長それぞれが、確かな見通しと冷静な判断のもとに年間活動計画の修正案を提案され、各運営委員からの的確な助言があり、今年度の活動の方向性が非常にクリアに見えるようになりました。そして、「これならやっつけていける!」と大いに意を強

くしました。

この会議をとおして、私の支部長としての方針も決まりました。それは、「この二年間は、各部会の主体的な取り組みに沿って行く」ということです。各部会長それぞれに経験豊富で、部会活動について明確なビジョンを持っておられることが会議の中ではっきり見えました。私に与えられた役割は、そうした四部会長のリーダーシップのもと、創意ある取り組みを支え、推し進めることだと今は考えています。

湖東支部の会員も年々高齢化が進み、活動が停滞傾向にあるのも事実です。でも、会員一人ひとりはまだまだ元気でやる気を持っておられます。今自分たちが置かれている環境・状況の中でできることに最善を尽くす、その中で、きっと新しい展開が生まれるだろうと期待します。

一五四名の会員を擁するレイカディア湖東支部の発展のために私なりにできることは精一杯やらせていただきます。どうか皆様方の温かいご支援・ご協力をいただけるようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

湖東支部新役員の紹介

4月13日に予定されていた本年年度の湖東支部定期総会は、新型コロナウイルスの影響で書面議決となりましたが、提案された議案(前年度の事業報告、決算報告、支部規約改正、役員改選、新年度の事業計画、収支予算)については全員の賛成をもってすべて成立しました。

改選された令和2〜3年度の新役員は次のとおりです。

顧問	児玉正孝
支部長	上野芳樹
副支部長	天満郁夫(彦根分会長) 兼研修部会長
副支部長	北川勝美(大上分会長) 兼総務部会長
副支部長	村西俊雄(愛知分会長)
理事	西澤則彦(会計担当)
理事	近藤見示(彦根副分会長)
理事	諏訪俊雄(彦根副分会長兼 地域活動部会長)
理事	澤 好成(大上副分会長)
理事	廣田由行(愛知副分会長 兼広報部会長)
監事	西川 裕(H P担当)
監事	小中長昭
監事	北村恭弘

新会員四〇期生のメッセージ

レイカ大の縁を糧にコロナに
負けるな！



園芸学科
川口 久隆

私は、湖東支部会員の矢野嘉嗣さん(多賀町)、廣田由行さん(旧湖東町)の元職場の後輩です。

レイカ大の園芸に入学したのも、両先輩から「園芸学科はおススメや」と聞いていたのが縁です。レイカ大生活は期待に違わずセカンドライフのリズムをつくりだしてくれました。濡れ落ち葉になる？年齢になって、職歴の異なる友人知人を新たにつくる機会や刺激を得たことは大変幸せなことではないでしょうか。園芸学科広情報委員の一人として同学科のHP作成に携わることとなり、あわててホームページビルダーのソフトを購入するはめになりました。

その縁で、卒業後は「サポートの会通信」の編集委員の一人として皆さんに配布済み「滋賀県レイカティア大

学学生募集」特集号作成に携わりました。しかし、刊行後に「コロナの影響で、

43期生募集は中止になるといふ悲運に見舞われました。とはいえ、マスクをつけた編集会議を開催する中で、他学科編集委員の方々から各地域に魅力あるスポットが隠れていることを教えられました。

そこで、湖東地域の知られざる宝物さがしに夢中になって1年2年過すのはどうでしょうか。コロナ恐怖を忘れさせてくれるのではないのでしょうか。(たぶん)。

レイカティア大学の思い出

北近江文化学科

磯嶋 節子



2年間、17名の同級生と共に、北近江の文化を学ばせて頂

いたことは、尊く意義の深いものがあります。

「中山道を行く」テーマで高宮宿か

ら柏原宿の道程を皆と共に歩きました。街道筋にある「本陣跡」「脇本陣」

「問屋」庶民から見た昔の生活等、歴史の紐を解き、改めて知る知識は何物にも代え難い物がありました。「近江の文学」では、こよなく近江を愛した、芭蕉の句碑を探すのも楽しみの一つになりました。

近江の「城郭探訪」では「小谷城」「安土城」「彦根城」と登り、城郭の特徴や歴史を学びました。私の住んでいる字の栗田城址が、中世に築かれ、織田信長軍に敗れ破砕されたことを知る事ができました。レイカ大学で学びを得なければ、栗田城址を深く知る由も無かったこと、改めて実感しています。

かつて私の職業だった近代看護制度の樹立者である、ナイチンゲールの紙芝居を作り上げることも出来ました。世界で一つだけのオリジナル作品になりました。

レイカ大学の集大成である、課題学習では「歴史に見る、近江の災禍、地震と水害」テーマで私たちの班は学習を積み上げました。

17名の友と学習の成果は、生涯の宝物になりました。

私は老年に至っても、なお少しずつ成長することを 心がけている「

ロングフェロー

コロナ禍での楽しみ

園芸学科

森野 昭二



入梅の季節になると華やかに咲き誇ったバラも一段落し、既に花が切

り取られた枝にはクレマチスの花がくるくと巻き付いています。バラの周りに植えた宿根草は、まだまだ健在で今も目を楽しませてくれます。今年は、通りに面した日当たりの良いフェンス沿いに、高さが3mにもなるうかというタッチアオイの花が咲いてくれました。木陰では、アガパンサスの花芽が、スラリと真っ直ぐに立ち上がり、あと10日もすれば、薄青のさわやかな花が咲きそろいます。

コロナ禍で出歩く機会がグンと減り、庭にいる時間が増えました。朝庭に出て暗くなるまで、食事以外は庭で作業という日も珍しくありません。花や野菜、木々を観察していると次から次へとやる事が湧き出て来ます。

蒸し暑い日が続きます。病気に弱いバラには、黒星病が出て葉が黄変し、少し触るとばらばらと地面に落ちてしまします。見た目にも悪く、ほかのバラに病気が移らないよう、麦藁帽で刺を避けながら腰をかがめ膝をついて葉っぱを拾うの

が今日の私の仕事です。

庭を見に来てくださった方などが、「お世話大変ですね」と言ってくたさいます。「そうですね、まあそんなに大変でもないですけど・・・」などといまいな返事をしながらも終日庭に出て、風のサイレンを聞くと、「あ、もうお昼かそついや腹が減ってきたなあ!」と独り言を言っている毎日です。

課題学習の継続

園芸学科

若林 吉郎



課題学習に取り組んだ仲間6人が、レイ大卒業間もない10月

1日に再び高源寺に集まり、課題の一つであった竹穂垣の整備を再開しました。残しておいた材料の竹を使って、山門をくぐった正面左側5mの垣根を新しく整備し、更にコロナ禍で一時中断しましたが、自粛が緩和和らいだ5月21日、22日に再び集まり、前回「続く8mを整備しました。これによって参道から山門沿いの延長31mの竹穂

垣が完成しました。思えば、稲枝まで竹の切り出しに行ったことに始まり、

真冬の寒い日にひたすら竹の葉をむしり取って穂垣の材料を揃えました。

また、建て込み当日も雪がちらつく寒い日でしたが、レイ大OBや同期の仲間の応援をいただき、一緒に完成を喜んだことを懐かしく思い出します。

レイ大に入学したことで仲間ができ、とても充実した2年間を過ごすことができました。残りの人生は短いですが、日々の時間の余裕はたっぷりあります。これから夢中になれるものを見つけて取り組み、充実した人生を目指したいと思います。



(高源寺の竹穂垣)

近況報告(卒業してから)

園芸学科

植田 洋治



朝、新聞をじっくりと読み、その後近くを20分ほど散歩、一日が始まる。

3月末から5月にかけては、タケノコの出荷のため山へ、竹藪(竹林ではない)での掘り出しは結構、重労働だ。イノシシの食べ残しを頂戴している。併せて農作業が忙しくなる。鳥居本ファームでは、県の推奨米「みずかがみ」を作付けしている。食味ランキング「特A」だ。販売もしているので、鳥居本産のおいしいお米をどうぞ。無事田植えが終わっても安心は出来ない。田植え直後は鹿が出没、早苗の先を食べる。水の見回りには爆竹が手放せない。猿の集団に遭遇するからだ。6月のはじめはホタルの生息調査、偶数月は河川の水質調査をしている。

先日、地元中学校から剪定の依頼があった。あわただしく、日々が過ぎていく。



「今、私は・・・」

園芸学科

西村 優



三年前、レイカテア大学の存在を全く知らなかった私に、レイ大OB

の親戚から熱心に入学を奨められ、奨められるがまま入学を決めたのですが、初めの印象は、「自分には向いてないのではないか」「果たして卒業できるのか」という思いでした。それが何とか卒業を迎えることができただけでなく、事務局の方より「あと少しや。休まないで頑張り。」と声を掛けられ、何の事かと思っていると「皆勤賞やだね」と言われ驚いたと同時に、自分自身を誇らしく思いました。

卒業してはや9ヶ月、私は、民生委員として区民の人と語り合い、また大学で学んだ事を活かした葉刈りや、農業経験はありませんが、営農ファームで草刈の手伝いなどを通じて地域の人と汗を流しながら活動をしています。

大学時代に地域ボランティアでお世話になった社協の方々、大学の同期で民生委員をやっている仲間、また二年間の授業で培ってきたことが、私の社会生活において有意義なものになって

いると実感し、大変感謝しています。
レイカディア大学というところは、
第二の人生における地域社会で、いき
いき充実した生活を送っていくため
の一つの架け橋ではなかったかと思
うようになりました。

自分自身、もしあの時入学を決めて
いなければ、今のこの充実した生活は
なかったと強く感じています。

「レイカの思い出・その後」

陶芸学科

成宮 克美



在学中は、陶芸・
クラブ活動・課外
学習・大学祭等々
で友達の輪も大
きくなりました。皆出席で卒業、皆さ
んに感謝です。

二年生の課題学習ではプロの陶芸
作家さん八名を訪問取材、卒業後も交
流させていただいています。最高の財
産です！

大学祭では本部役員・会計総括とし
て、また草津選出原議の駒井千代氏に
もご見学いただき思い出深い大学祭
となりました。

卒業式に於いては、ご来賓いただき

ました由布滋賀県副知事とのツーショ
ットは最高の記念となりました。

卒業後の十月より半年間、滋賀県立
大学の公開講義(学生諸氏と共に受講)
に参加。今年度は「コロナで中止となり、
再開を楽しみに待っているところだ
です。在学中からの傾聴ボランティアで
は、お年寄りの話し相手をしながら私
も元気をいただいています。趣味の陶
芸も、地元のクラブに参加させていた
だし皆さんと楽しく活動中です。また、
夫婦共々の野菜作りでは、我々の思い
に必ず応えてくれて自然の楽しみに感
謝です。他に福寿会・グラウンドゴル
フ・営農活動等に無理をせず楽しんで
おります。『人生百年時代』心身共に元
気に年を重ねたいものです。
末筆となりましたが、新型コロナウイルス
イルスの早期終息を願ひ、湖東支部の
ご発展と会員皆様のご健康・ご多幸を
祈念申し上げます。

レイカ2年間の思い出

園芸学科

中嶋 修



レイカディア
大学に入るきつ
かけは、35期生
の3名の方から

勧められました。共に言ったことは、人
生が変わるで、素晴らしい仲間が、沢山
できるで、このことでした。1年間が過
ぎる名の方が言ったことが、やっと理解
することが出来ました。

さて、一番印象に残ったことは、滋賀
の巨木を訪ねて色々な所に行きました
が、高月町柏原にあるケヤキにはびっく
りしました。高さはさほどでないが、ゴ
ツツした幹回り、枝も太い。幹回りを
見ているとどっしりとした岩のように
見えた。いけないことですが、鎖を越え
て幹に触れてみた。ザラザラした感じで
他の木と違う何か(パワー)もらったよ
うに感じた。

長い間雨風にさらされ、生きてきたケ
ヤキ、私達の人生は短い期間です。70年
代は黄金の時代といわれています。これ
からも楽しい人生を送りたい。

次は、私の住んでいる所、湖岸道路近
くの犬上川橋右岸側橋の近くに大きな
タブノキが2本あります。毎日眺めなが
ら、何百年生きてきた木、いろいろなこ
とがあったと思います。ストレスが溜ま
る毎日、短気にならず、心静かに穏やか
に第二の人生を過ごしていきたい。タブ
ノキ周辺の草刈りを年間3〜4回実施
している。これからも続けていきたいと
思います。

私のボランティア

「オレンジカフェ」

北近江文化学科

田付 芳久



帰り際「楽しか
ったで」「来月も
来るよ」と笑顔で
帰られる地域の
方、高齢者のこの笑顔を求めて、5年前
にオレンジカフェ(認知症カフェ)を立
ち上げました。

認知症は高齢になればなるほど発症
する危険は高まります。歳をとればだ
れにでも起こりうる身近な病気です。
認知症の方は2025年には730万
人と、65歳以上の高齢者の5人に一人
を占めるといわれます。日本では、認知
症対策を国家戦略と位置づけ、201
5年、認知症の人が住み慣れた地域の
よい環境で自分らしく暮らし続けるこ
とを基本理念とした「オレンジプラン」
を策定しました。

私が運営しているオレンジカフェは
月1回、認知症の方やその家族、地域住
民、介護や医療の専門職など誰もが自
由に参加できる場として開催していま
す。お茶を飲んだり、歌や工作、余興な
ど楽しみながら自由に時間を過ごして

もらい交流を深めています。とにかく楽しんでもらい、来て良かったと思ってもらうようなカフェを目指しています。

認知症になっても生きやすい社会、認知症の人と共生する社会を作ることとは、超高齢社会の現代を生きる私たち一人ひとりにとっても重要なことであると思います。今後も地域の方の元気な笑顔を求め、オレンジカフェを続けていきたいと思っています。

レイカティア大学を卒業して

園芸学科

中野 仁



レイ大在学2年間も早く感じましたが、卒業後も9ヶ月が経

過し、月日が経つのが早く感じる昨今です。私は入学当初、植木の剪定と野菜栽培が一年を通し、一人前になれることを目指し入学しました。60歳代後半になり、今更大学に通うとは思っていませんでしたが、皆さん同じ位の年代で高校の同級生とも何十年ぶりに出会いました。

卒業後、目標の家の庭の剪定作業も、昨年秋に実施しました。今まで職

人さんにやってもらっていた作業も、7割程度は出来るようになりました。今年は全てしようと思っています。野菜作りは、一年間の予定を作り、今夏野菜の世話の最中です。

学校関係では、課題学習で取り組んだ仲間と、ボランティア活動として集まり、剪定作業や門松作りを行い、新年会も行いました。園芸学科全体では、湖東支部・歓迎会の参加、卒業旅行、びわこ地球市民の森ボランティア活動、新年会等参加させて頂きました。

このように、2月まではほぼ毎月のように仲間と出会っていましたし、3月以降も計画が共にありましたが、新型コロナウイルスの影響で、活動が実施できない状況です。今後も計画が出てくれば、極力参加し人と人の関係・繋がりを大切にしたいと思っています。

レイカ大の思い出と近況

健康づくりの学科

北村 由子



早いもので卒業して約10ヶ月が経過しました。課題学習で「健康寿命

の延伸を図ろう」というスローガンのもと、いろいろな活動をしてきましたが、その中でも私が一番印象に残っているのが『びわこ一周チャレンジウォーキング』です。

それまでの私はウォーキングの経験がほとんど無く、むしろ歩くこと自体が苦痛でした。しかし、自分に合う目標を定めたことによって、歩数や距離などを記録しながら「ウォーキングの習慣化」につながっていった事は最大の成果だったと思います。

卒業してからもウォーキングは続いています。が、「血圧の上昇予防」「肥満予防」「骨粗鬆症予防」「ストレス解消」など、そのパワーには計り知れないものがあります。

自分に合ったウォーキングでこれからも楽しい充実した時間を過ごしていきたいと思っています。

また、在学中から学校支援ボランティアとして「スクールガード」をしていますが、子供たちの安全、安心を守る為これからも出来る限り取り組んでいきたいと思っています。



健康が一番

園芸学科

川嶋 幸泰



私は、現役時代五十歳の時に脳梗塞を患い、二週間の入院、二週間の自宅療養をして復帰することが出来ました。何が原因だったかわからないのですが、仕事が大変だったことはありますが、発症する前は血圧が非常に高かった状態でした。健康のために水泳をしていましたが、その時に発症してしまい、プールから上がった後も歩けない状態でしたが、周りの人のおかげで病院までたどり着くことができました。もし自動車の運転中にこのような状態になったらと思うとぞっとします。

脳梗塞の場所は、あらゆる神経が集まっている脳幹で手術が難しい場所でしたが、幸いカテーテルでの血管内手術をしてもらうことができ、後遺症を担当の先生は心配されていましたが、ほとんど無く現在に至っています。

一生、病院生活でもおかしくない大病を患いましたが、通常の生活ができ、また健康のため、考えながら現在も水泳やウォーキングを行っています。現役を引退してからは、今までの楽しかった趣味？

も始めました。家族からは趣味が多すぎると叱られています。このように色々なことが出来るのも健康だからと思います。

今後は健康に注意しながら、レイ大園芸学科で学んだことをまずは家で実践し、その後地域の活動に生かせればと思っています。

皆さん健康が一番です。

近況報告

園芸学科

黒澤 浩彰



令和元年9月12日感激の卒業式の挙行、終了後、41期の皆

様による送別会で、先生方も加わり楽しい回覧のひと時を過ごしてから9カ月余が過ぎました。その後、昨年中はレイカ・ロスを感じながらも、卒業旅行での同期との懇親、湖東支部研修会での諸先輩方との懇親等で、レイカ・ロスを癒しておりました。

昨年12月、待っていましたとばかりの自治会長への選出、又、今年になり当初として初めての小学校区連合自治会長にまで指名されてしまいました。

た。指名された以上、頑張って自治会活動と、レイカへの恩返しとして「サポーター隊」「学生募集プロジェクト」「愛知川河畔林プロジェクト」「彦根5人会ボランティア」と精一杯頑張ろうと決意した矢先の「新型コロナウイルス感染症」。

予定していた行事・会合等が次々中止。飲み会も自粛となり、これまでブツブツ言いながらも、予定していたことが出来ていたありがたさを実感している現状です。コロナは、最近落ち着いているとはいえ、第2波・第3波の虞もあり、終息の時期も不明なのは、高齢者の仲間入りをしている自分も不安です。

皆様ともに、自由に活動できる日が早く訪れることを祈っております。どうぞ、ご自愛ください。

70歳 これから

園芸学科

中村 慶治郎



私は今年70歳になる。昔は数え70歳、今は満70歳で古希という。

昔は70歳まで生きる人がまれば

たことから古希と呼ばれる。

人生をグラウンド一周に例えるなら、第4コーナーを回って直進になり、いよいよゴールが見えてきたところだろう。その直進もやや下りなら人生下り坂最高（NHK日本縦断）ころ旅、火野正平の言葉）となるはずである。

人生100年時代と言われるが、いつ人生の一大事が来るのか分からない。その時まで、健康でなるべく人のお世話にならなくてよい生活ができることを望む人がほとんどだろう。長生きしても認知症や寝たきり状態になったのでは、ほかないことだ。

私の父は、70歳過ぎに亡くなったので、あと少しすると父の年齢を超えることになる。多分そこまでは大丈夫だろう。その後の人生は、おまけだと考えると心に余裕が出てくる。

さてこれから、どう生きるか。私は無理をしない、好きなことをする生き方をしてみたいが、これは案外難しそうだ。レイカディア大学で学んだことを実践したいし、地域のボランティア活動や仲間も大切にしたい。興味のあることをどんどんやってみよう。

せっかく70歳までできたので、この先をもっと見てみたいものだ。夢としてまだ見ぬ、ひ孫に伝えたい。昔コロナウィ

ルス肺炎が蔓延してたくさんの人が亡くなったことや、そのことで東京オリンピックが中止になったことを。（中止とは決まっていない）

ふりかえりこれから

40（ヨンマル）会

園芸学科

寺嶋 作雄



「近所のレイ大OBにご紹介いただき、期待と不安が入り混じって入

学したときのこと。年齢・経歴・生活や地域活動の違う個性豊かな仲間たちとの出会いでした。

毎回期待した校外学習、貴重な体験の課題学習や取り組み満載の大学祭など、皆さんにご協力をいただきました。要望の多かった松の剪定は先生に補講をお願いし、リモート授業も実施頂きました。実に充実した2年間でした。

卒業から間もなく1年。活動事例満載での報告予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で、40（ヨンマル）会のびわこ地球市民の森のサポート活動は直前にやむなく中止をし、サポ

1トの会園芸部会の活動は臨時休校により5回で休止に。苗木のホームステイは、全国植樹祭が1年延期された事により3ヶ年の取組みに延長となりました。ステイホームが緩和された事により課題学習先の高源寺は、竹穂垣製作を再開し、完成できました。また在校生(2年生)の校外学習先にも選定され、来年は紫陽花の植栽を予定しています。

また、地域活動でお世話になった「絵手紙ボランティア」は体験後も継続しています。メンバーも増え活動を再開しました。有志での取り組み、伊吹平核無柿の摘果も間もなく始まり、秋の収穫が楽しみです。

長寿県となり、人生100年時代の今、新型コロナウイルスと付き合いながらこれからの新しい生活スタイルで頑張ってください。(順不同)



会員訪問 (令和二年米寿者)

例年、4月の同窓会本部定期総会で長寿者表彰が行われますが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止で総会が中止となりました。令和二年度の湖東支部表彰対象者は米寿者二名でしたが式典への出席お願いができず、祝証とお祝い品を自宅に持参させて頂きました。

七月に入り、外出も緩和されましたので、お二人の近況を確認しました。

園芸学科18期生

彦根分会 北川 久さん



旧制彦根中学校 (現彦根東高校) から大阪の大学に進学。卒業後は全国転勤のある

会社に勤められました。若い頃からの全国勤務は「今から思えば、全国を旅行した事になった」と笑っておられました。初めての土地や転勤は奥さまも大変だったと思います。仕事の苦労は一過性で終わりますが、

多くの人達との協調や交流の深さは、北川様のその後の人生を豊かにし、財産にされたと思います。

定年後二十年を経ても、今なお仲間との年四回のゴルフや定期的な出合いを続けられておられます。

七月から車の運転も自粛。歩いての買物や散歩が日課になったとの事です。

近くにはお孫さんもおられ、一緒にの食事が楽しみと言っておられました。



現在は、ご夫婦共健康で病気もせず元気に過ごされておられます。奥さま同席の会話から、軽いタッチの話方が、互いの信頼といたわりに繋がっていると感じました。

北川様はレイ大同窓会彦根分会二番目の長寿者となられ、未永くご健勝でお過ごしただく事をお伝えし、訪問を終わらせていただきました。

今回、常任委員の太田多美恵様と一緒に訪問させて頂きました。

スポレク学科24期生

彦根分会 青木 秋子さん



青木様と親しくお話しさせて頂くのは、平成三十年九月の新会員歓迎会以降です。

青木秋子様と言えば、新会員歓迎会。

余興と言えば、青木秋子様のご日本舞踊かレクレーションダンスが定番となっていました。残る記録では平成二十二年から平成二十四年度の3年間は日本舞踊、平成二十六年度から平成三十年の5年間は、メンバー十五名によるレクレーションダンスを舞台狭しと踊られました。

青木様は、切り絵や折り紙の趣味もあります。湖東支部や大学祭の作品展には何度となく出品いただきました。それらと並行し、平成二十一年度から平成二十九年度迄の九年度、彦根分会高宮学区の常任委員を担当されました。

今回の訪問では、一昨年十月以降の暮らしの状況をお聞きしました。

青木様のお話しでは、昨年にレクダンを解散してから、出歩く機会が少なくなり病気がちになったとの事です。三月に彦根市立病院に一ヶ月入院。元気だった四歳年上のご主人も、五月に同じ市立病院に入院、七月に近くの介護付き施設に入られたとの事でした。

同じ敷地内には長男夫婦がおられ、田畑は全て任せる一方、困った事があれば何事も対応頂けると、一人暮らしの心配はしておられませんでした。現在は自宅横の畑地で、野菜づくり、花づくりを勤しんでおられます。時間があれば切り絵もされています。レイ大同窓会は楽しく、よく頑張ったと自己評価されていました。

訪問者

児玉正孝 記



「同窓会ホームページの活用を！」

今年より湖東支部のHPを担当します西川です。同窓会の皆様にはレイカディア大学同窓会のホームページを既に見て頂いていると思いますが、「レイカディア大学同窓会」で検索、または「<http://lacadia-dousoukai.com/>」を入力して頂くと同ホームページにアクセスが可能です。

湖東支部のホームページでは①年間の事業計画および会議や行事の日程や内容のお知らせ、②各行事で実施した活動の内容を写真やコメントで紹介、③年2回発行の湖東支部会報の掲載と過去の会報のアーカイブ保管、④レイカディア大学HP、同窓会HP、米原校サポートの会HP等の関連HPとのリンク、など迅速にレイカディア大学や同窓会に関連する情報の確認が可能となっています。

今後も同窓会HPを会員皆様の有用な「情報共有ツール」として活用して頂くべく、レベルの向上と情報の共有化に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。尚、同窓会ホームページのサーバーが契約更新により今年度9月から新サーバーに移行します。新アドレス(URL)については決まり次第別途お知らせします。



湖東支部HP担当

西川裕（北近江文化学科 38期）

今後の主な行事予定

- ★湖東支部GG大会
10月上旬・庄塚公園予定
 - ★四支部GG大会
10月中旬（場所未定）
 - ★美しい湖国活動
（彦根市松原水泳場湖岸清掃）
10月28日（水）
（予備日）10月30日（金）
 - ★地域活動事例発表会（中止）
 - ★日帰り研修
11月6日（金）予定
 - ★大学祭（草津校）
12月18日（金）～20日（日）
 - ★大学祭（米原校）
3年3月2日（火）・3日（水）
- 予定の行事については確定次第、HPで連絡します
1つ参加をお願い致します

滋賀県レイカディア大学同窓会

湖東支部会報

令和二年八月一日発行

令和二年度第一号

発行責任者 上野芳樹

編集責任者 廣田由行